



3月園だより

令和5年3月1日

目黒区立大岡山保育園 園長

緑道の桜のつぼみも膨らみ始め、春が少しずつ近づいている兆しを感じます。

入園、進級したばかりの初々しさから1年も経つと子どもたちはまぶしいほどに成長を遂げ、今では、1つ上のクラスに進級したかのような頼もしい姿を見せてくれます。

先日、0歳児クラスを散歩に送り出した時のことです。ある子が手を振ってくれたので、私が「バイバイ」と声を出しながら手を振り返すと、急に不機嫌な顔になり怒り始めました。どうしたのだろうと考えた時に「この子はいってらっしゃい」と言ってほしかったのかもしれないと省みました。「ごめんなさい。いってらっしゃいだったね」と言い直すとさっきの顔が嘘のように晴れやかな笑顔になりました。気持ちが通じたことが嬉しかったのか他の子がドアの向こうに出て行ってもしばらくその場において、嬉しさの余韻を残してようやく出かけていきました。私自身も心にジーンとくるものがあり、喜びの鼓動が止まりませんでした。信頼関係を育むとは伝えたい思いを相手に汲み取ってもらい、言葉にしてもらうことを重ね合うことだと実感しました。

保育園では安心安全な保育環境の中で信頼関係を育むということを大切に保育してきました。保護者の皆様からもたくさんのご協力をいただきながら、共に歩んできた1年だと振り返ります。1年間どうもありがとうございました。

今月の予定

卒園式（5歳児）

お別れ遠足（3、4、5歳児）

移動日（全園児）

（30日より、新クラスで過ごします。）

お別れ会（全園児）

中旬

身体計測・避難訓練



ぶどう組にインタビュー 保育園の思い出ランキング



	好きな給食	好きな遊び	一番の思い出
1位	カレーライス	La-Q	おにぎりパーティー
2位	シュガートースト	ドッチボール	芋ほり遠足
3位	納豆ご飯 ぶどうゼリー	毛糸でマフラー作り	プール 運動会

ぶどう組の子どもたちはたくさんの思い出を胸に、もうすぐ卒園の日を迎えます。残りの保育園生活も楽しく、元気に過ごしてほしいと思います。



こんなに大きくなりました

～遊びを通しての子どもの育ち～



いちご組

緑道を探索遊びをしながら歩いていると、植込みの枝葉を指さし「パ、パ、パ」と保育士に知らせてくれました。保育士が「葉っぱあったね」とそちらを見ると、その子はその枝葉に歩いて近づき目をこらして見えています。するとその横に椿の花が咲いているのに気付き手を伸ばして触れようとしたので、「お花きれいね、いいこいいこね」と保育士が花をそっと触って見せると、その子も指先で優しく花を撫でていました。足元に落ちていた花びらを拾って「どうぞ」と手のひらにのせて見せると、嬉しそうに手のひらから花びらをつまんで受け取り、周りに落ちていた他の花びらも拾い集めて小さな手のひらに大事そうにのせて見せにきてくれます。「お花きれいね」と話すと「ねえ」とにっこり嬉しそうに他の保育士にも見せに行っています。子どもの発見や伝えようとしている気持ちを受け止めながら、言葉にしてやり取りすることを大事にしてきたことで、子どもと保育士で気持ちを通わせながら対話することが楽しくなってきました。



もも組

ウレタン積み木の上に、フェルトの魚やドーナツを並べています。きれいに並べて満足そうに笑顔で「いらっしゃいませ」と保育士や友達に向かって呼びかけ小さなお店屋さんが開店です。「これなんですか」「ドーナ」「これは?」「オチャカナ」「これください」「ドウゾ」とお魚を買ったつもりがドーナツもついてきて楽しいお店屋さんです。友達もやってきて美味しそうなドーナツについついパッと手が出て持って行ってしまいそうになると「ダメ」となるのですが、保育士が「ちょうだいだね」と声を掛けると「チョウダイ」「ドウゾ」とやりとりを楽しんでいます。経験した事が子どもたちの遊びの中で再現され、大人や友だち同士でやりとりを繰り返しながら一緒に遊ぶ楽しさを感じている子どもたちです。これからますます遊びが広がっていくことが楽しみです。



りんご組

りんご組で流行っている遊びにジェットコースターがあります。運転手になった子が縄跳びを2本持ち、他の子や保育士がその縄の後ろにつかまって、スピードをあげながら「きゃあ」と園庭中を走ってスリルを楽しんでいます。時には息を合わせ築山から連なって降りることにチャレンジしています。中には自分一人のペースですっと楽しんでいた子もいましたが、いつしか友達を乗せて走ることに目覚め「お客さんのってください」と友達と一緒に楽しい姿に変化してきました。「先生じゃない、お友達がいいの」と保育士は乗車拒否されることもあります。自分の世界をしっかりと楽しむことを十分に経験したからこそ、次は友達と一緒に楽しくなってきた心も体も成長しています。意見の違いでぶつかることもありますが、友達と一緒に経験したことをすぐに遊びにとりいれ表現しながら友達と遊ぶことが楽しくなっているのを感じています。



さくらんぼ組

「先生、一緒にむっくりくまさんやろう。」と始めは保育士に声をかけてくるのですが「他にも一緒にやりたいお友達いないかな？」と声をかけると「一緒にむっくりくまさんやろうよ」と友達を誘っています。「僕もやりたい」と次々に友達が集まると嬉しそうに戻ってきて「先生、みんなきたよ。早くやろうよ」と集まった友達同士顔を見合わせてにこにこしています。逃げ方にも工夫が見られ、見つからないように木の陰やテーブルの下に隠れてみたり、ジャングルジムの中に入り込んで鬼の手が届かないようにしてみたりとよく考えて隠れていることが伝わってきます。捕まってしまうと悔しくて涙してしまう姿が見られますが、それも悔しいという感情が芽生えたからこそだと思います。これからも友達と一緒に心からたくさん笑って遊んでいけるようにしていきたいと思います。



れもん組

今まで自分のやりたいことや作りたいものを「これつくって」「これやりたい」と保育士に言い一緒に作ってもらいながら楽しんでいた子どもたちです。自分のイメージしたことを表現して遊ぶ経験を重ねてきたことで、自分の作りたいものを自分で工夫しながら作り上げたりやりたいことを実現したりする姿が増えてきました。お医者さんごっこを始めると、「お薬作らないと」「診察券がいるね」と言いながらハサミやペンを上手に使い、自分たちで作っていきます。段ボールをテープでつなげて診察室を作ったり「あの、耳につけるやつ、なんだっけ」と言いながら聴診器まで保育士と一緒に作り、自分たちの体験を思い出しながら、よりリアルに道具を作って楽しむようになりました。その作った道具でお医者さんや看護師、薬剤師と役割分担して「〇〇さん、診察室へお入りください」「胸の音を聞きますね」など、日頃の生活を再現し楽しんでいます。これからも友達とイメージしたことを工夫し、表現することを楽しめるように関わっていききたいと思います。



ぶどう組

ラキューで遊ぶ中で完成した作品を保育園の皆に見てもらいたいという思いから、玄関前に恐竜たちを飾ることにしました。数名が展示を始めるとたくさんの友達が加わり「赤ちゃんの卵もあるといいね。でもどうやってつくるんだっけ」「〇〇くんの所にきいてみよう」とラキューが得意な友達に作り方を教えてもらっています。飛ぶ恐竜を飾ると「いいこと考えた」と空や木を紙に描いて背景にしたり、図鑑を見て海を作ったりと個々のアイデアを出し合い、ジュラシックワールドを完成させました。

一年間、行事や遊びの中で友達と一緒に力を合わせて取り組む経験を繰り返してきました。自分の力を発揮するだけでなく、困った時は友達と協力して作り上げていくことの楽しさをたくさん感じたことで絆も深まっています。これからの小学校生活も友達と力を合わせ、困難な時も乗り越えていってほしいと思います。

